

事業所名

北播磨こども発達支援室 三木ゆらんこ

支援プログラム(児童発達支援)

作成日

2024 年

12 月

1 日

法人(事業所)理念		<p>つながり合う関係：ひとは産まれた時からつながり合う関係のなかで安心を築きます。安心は心の安定や発達のエネルギーにとって大切な役割をもっています。</p> <p>支え合う信頼：ひとは安心感を築き合うなかで信頼関係がはぐくまれ支え合う心地よさを知ります。</p> <p>響き合う共感：ひとは楽しいとき、さみしいとき、しんどいときに理解し合えるひとが必要です。</p>									
支援方針		<p>特別な「訓練」ではなく、一人ひとりの子どもの発達に着目して、丁寧な保育を提供します。</p> <p>幼児期の基本的な生活習慣や対人関係、コミュニケーションの形成を大切に、子どもたちが楽しく、元気に、力強く過ごしていけるように活動していきます。</p> <p>支援を必要とする子、その家族の方々に寄り添い、地域社会との架け橋になれるよう取り組んでいきます。</p>									
営業時間		9	30	12	30	送迎実施の有無					
		13	時	00	分から	16	時	00	分まで	あり	なし
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	<p>基本的な生活スキルの獲得をめざしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗いや排せつの方法、汗ふき、身だしなみ、水分補給や休憩を自分のできるように繰り返しおこなう。 ・持ち物(かばん・すいとう・連絡帳等)への意識 									
	運動・感覚	<p>身体(手指)を使うことの、心地よさや楽しさを感じられる遊びの提供をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体操、ダンス、サーキット運動、風船遊び、ボールプールあそび等でボディイメージを獲得していけるようにする。 ・粘土遊びや新聞あそびを通して、手指の使い方や力の入れ方がわかるようにする。 									
	認知・行動	<p>活動するのに必要な決まりやルールの確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールボードや絵カードを提示しながら、意思表示(する・しない、いや・いいよ等)を明確にしていく。 ・パズルやブロック等を使いながら、色、空間、数にも興味を持てるようにする。 									
	言語 コミュニケーション	<p>自分の思いや気持ちを相手に伝えるための方法を知ることができるようにしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な伝え方のモデルを大人が示すことで、模倣したり考えたりして表現することができるようにする。 ・身振りや言葉、絵カードを使って、やりとりをしていく。 									
	人間関係 社会性	<p>ルールのある遊びや集団あそびのなかで、友達とのかかわりかたを知っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ままごとやプラレールなど玩具を使って、ごっこ遊びや見立て遊びをしていくなかで、友達を意識していけるようにする。 ・ドイツゲームで、協力したり譲りあったり、時には言い合い、我慢したりしながら、人との関わり経験する。 									

<p>家族支援</p>	<p>利用時の様子を連絡帳や送迎時に共有するのに加え、モニタリングなどの面談のなかで、家庭での様子も聞き取り情報交換していく。</p>	<p>移行支援</p>	<p>日常的な連携に加え、行事等の、普段と異なる活動の際の子どものかかわりについて、具体的なかかわり方、説明の仕方などを共有する。</p>
<p>地域支援・地域連携</p>	<p>担当者会議や保育所等訪問を定期的に行う。各関係機関からの情報に基づき、具体的なかかわり方を提案したり、助言したりしていく。</p>	<p>職員の質の向上</p>	<p>新人研修、虐待防止、身体拘束適正化、感染予防等の義務的な研修を実施し、必要に応じて外部の研修も積極的に受講。Eラーニングのオンライン受講も実施している。</p>
<p>主な行事等</p>	<p>季節に合わせた製作をし、その月ごとの活動の中に取り入れたごっこ遊び 避難訓練（学期に1回）を実施</p>		